

メディア文化論V

15. まとめ

シラバス

授業の狙い

有史以来、様々なコンテンツは記録媒体・フォーマットに記録されることで文化を引き継ぎ発展してきている。様々な記録媒体の特徴を学ぶとともに、記録媒体が文化に与えた影響について読み解く。

到達目標：

1. 記録媒体・フォーマットの変遷について理解できる。
2. 記録媒体・フォーマットによりコンテンツのあり方が変わったことについて理解できる。
3. 記録媒体・フォーマットにより新たな文化が生まれたことについて理解できる。

シラバス確認 授業内容

- [第01回 オリエンテーション]
- [第02回 紙]
- [第03回 レコード]
- [第04回 磁気テープ(オープンリール・カセットテープ)]
- [第05回 ~~フィルム(写真・映像)~~ フィルム(写真・映像)I]
- [第06回 ~~磁気テープ(VHS・ベータ)~~ フィルム(写真・映像)II]
- [第07回 ~~磁気ディスク(フロッピーディスク)~~ 磁気テープ(VHS・ベータ)]
- [第08回 ~~MIDI~~ 磁気ディスク(フロッピーディスク)]
- [第09回 ~~磁気ディスク(HDD)~~ MIDI]
- [第10回 ~~磁気テープ(DV)~~ 磁気ディスク(HDD)]

シラバス確認 授業内容2

- [第11回 ~~光ディスク(CD・DVD・Blu-ray)~~ 磁気テープ(DV)]
- [第12回 ~~磁気ディスク(MO,Zip)~~ リムーバブルディスク(MO,Zip), 光ディスク(CD・DVD・Blu-ray)]
- [第13回 半導体メモリ(USBメモリ・SDカード・SSD)]
- [第14回 クラウド化]
- [第15回 まとめ]

今年初めて開講する内容

自分が得意とする分野で文化を論じる、とすると

- 音楽
- コンピュータ

のどちらかということで、「記録媒体」を扱ってみました。

振り返り

記録媒体

記録媒体とは

情報を記録するための媒体

ですが、アナログとデジタルで大きな違いがあった気がします。

アナログ情報

情報をどう記録するか

ということに重点が置かれた気がします。

五感：視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚

に訴える情報を、

画像・写真・文字・音楽・映像

と分類したときに、それらをどのように記録に残すか、を試行錯誤により繰り返したんだと思います。(味覚・触覚はいまだにあまりうまく記録に残せません)

デジタル情報

デジタルとは0,1で情報を扱うこと

ですので、アナログ情報をデジタル情報に置き換えてしまえば、あとは記録媒体としては

- 大容量化
- 高速化

が問われたような気がします。必要十分な容量・スピードを得た上で、クラウド化も進んでいます。

デジタルメディアが新しいものに置き換わるスピードも、アナログより非常に早い気がしました。

デジタル情報が制作方法に大きなインパクトを与えたことも確かです。

インターネットの登場

そして、インターネットの登場により

情報の所有からアクセスへ

も大きなポイントでした。

動画

動画で振り返ってみましょう。

紙

- The History of Paper From Ancient China to Modern Times(3:16)

音

- [From Phonographs to Spotify: A Brief History of the Music Industry\(6:19\)](#)

写真

- [The history of photography in 5 minutes\(5:12\)](#)

映像

- [History of Movies Fun Facts | Cinema\(5:10\)](#)
- [History of the Home Video\(8:31\)](#)

デジタルデータ

- Evolution of Data Storage Devices(4:31)

文化的影響

産業の誕生

- 紙：印刷産業
- 写真：広告産業
- 音：音楽産業
- 映像：映画産業
- IT：IT産業

新しいメディアができると新しい産業が生まれてきました。

そして、コンテンツとしてさまざまな文化が生まれてきたことは間違いないですね。

マスメディア

そして、多くの人に影響を与える

■ マスメディア(新聞、テレビ、ラジオ、雑誌)

が生まれてきました。

ところが、現在これらの媒体は

■ オールドメディア

とも言われ始めています。

日本の広告費

広告費が全てではないのですが、広告は多くの人アクセスする、と思われるところに出稿されるので、メディアの動向を見る、一つの指標となるでしょう。

- 日本の広告費

オールドメディアとニューメディア

ニューメディアという言葉は1980年代初頭に利用されていた言葉であり、一度死後になりました。

が、最近また4媒体に対する言葉として**ニューメディア**という言葉がインターネットを活用したSNS,YouTube等を扱う言葉として使われ始めています。

オールドメディアの特徴

- 一方向の情報発信
- 厳格な編集・審査プロセス
- 大きな社会的影響力

一方、以下の理由から偏向しているのではないか、との意見があります。

- メディアの編集方針と報道の偏り
- スポンサーや政治的圧力の影響
- フレーミング(どこを強調するか)と報道しない自由

ニューメディアの特徴

- 情報の即時性が高い
- 多様な視点を取り入れられる

というメリットの一方、以下のデメリットも指摘されています。

- フェイクニュースが広まりやすい
- 情報の信頼性が低くなりがち

記録媒体まとめ

結局のところ

記録媒体は

情報を記録するためのもの

であり、それはなんのためかというと

色々な人と情報を共有したいから

ということなのか、と、この講義を作っていてあらためて思いました。
そして、情報の所有ではなく、情報へのアクセスにシフトしています。

メディアリテラシー

そして、情報には価値があり

- お金になる
- 人を煽動することができる

などの影響力があり、情報を読み解く力

メディアリテラシー

がますます大事になってきています。

ソーシャルメディア

- 主要SNS7媒体の特徴と使い分け！X（Twitter）/Instagram/TikTok/Facebookなどの違いを理解しよう！

マーケティングをする人は、これらの進歩を日々理解した上で、いかにビジネスなどに活用するかを考えています。

情報を正しく読み解く力を是非つけて欲しいものです。

情報を読み解く力

長い文章を読むより、短い動画でメッセージを受け取る方が当然楽です。
そのため、tiktok,instagram等の短尺動画で情報を取得する人も多いでしょう。

ですが、短い情報では情報量に限りがあります。

正しい情報を読み解く上では、ある程度情報量に接することも大事だと思います。

さまざまな情報から自分の中に価値観を確立した上で、さまざまな情報によってそれをアップデートして行ってほしいと思います。

さいごに

自分が知らないことも結構調べられて、個人的には授業作っていて楽しかったです。

「メディア文化論」は、切り口によって様々な講義の作り方ができそう、と本当に思いました。

それもあって、I-VIまであって、多様な先生に持っていていただいています。

期末レポート

manabaより以下の内容で提出してください。

締切：7月中

1. 記録媒体の変遷と文化の関係について1600文字以上で述べよ。
2. 1.を踏まえた上で、これからのあなたの情報との関わり方について400文字以上で述べよ。